

特別活動事例

題材名 第6学年 「ふれあいフェスティバルに向けて」

学級活動(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

1 事前の指導

活動の場面	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
10月〇日 ()	アンケート これまでの縦割り班活動について成果や課題を振り返ったり、縦割り活動の意義について自分の考えをもったりするアンケートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの活動について成果や課題を共有することで、よりよい活動を考えるという目的を伝える。 「成長作文」の記述を活用し、具体的な場面を想起して成果や課題、自己の成長に気付けるようにする。 	<p>◎アンケートに答えることで、縦割り班活動の成果や課題を振り返ったり、意義を考えたりして、学習への見通しをもとうとしている。</p> <p>【主体的態度】(資料①アンケート)※1参照</p>

2 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
つかむ	1. 縦割り班活動についての意識と取り組みの実態を知る。 ○縦割り班活動についてのポジショニングマップに自分のネームプレートを貼る。	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいフェスティバルに向けて、これまでの縦割り班活動について振り返ることを伝える。 ポジショニングマップに2つの軸を示し、自分が該当する位置にネームプレートを貼らせる。 	<p>「十分満足できる活動の状況」を的確に見取るため、具体的な児童の姿をいくつか想定して記述する。</p>
10分	2. ポジショニングマップを基に、自分や友達の課題について考える ○ポジショニングマップから気付いたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 「全体としてはうまくいっている」が個々には苦手意識をもっていたり、失敗経験があったりするなどの実態に触れ、課題意識をもたせることにつなげる。 	
さぐ	3. 縦割り班活動の意義と課題を考える。 ○「なぜ縦割り班活動をするのか」について次の2つの視点から考える。	<ul style="list-style-type: none"> ポジショニングマップから挙げた課題を基に、縦割り班活動の必要性に意識を向けさせる。 	<p>◎縦割り活動の意義や課題について、自分なりの考えをもち、友達に伝えている。【思考・判断・表現】(観察)</p>
10分	○縦割り班活動における悩みを共有する。 4. 本時のめあてを設定する。	<ul style="list-style-type: none"> これまでの作文などを基に、「よかった」「うれしかった」と感じた場面をふり返らせて共有させる。 	
	ふれあいフェスティバルを成功させるために個人の目標と工夫を考えよう		
		<ul style="list-style-type: none"> 個人の目標の必要性に目を向けさせ、めあての共有化を図る。 	
見つける	5. ふれあいフェスティバルを成功させるために大切なことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて事前アンケートの関連する内容を紹介する。 	

本時の展開においては、合意形成・意思決定の場面において、「思考・判断・表現」の観点到重点化して見取ることが考えられる。

15分	○同じ縦割り班のメンバーで意見交換する。		
決める	6.これからの自分の取り組み方法を決める。 ○自分の取組を決め、学習カードに記入する。	・個人の課題だけでなく、縦割り班全体での課題も踏まえ、自分にとって目標とするべきことを考えさせる。	◎話し合い活動で出された考えから、自分の課題を踏まえ、ふれあいフェスティバルに向けた具体的なめあてを決めている。 【思考・判断・表現】 〈観察・資料②学習カード〉※2参照
10分	○決定した内容を発表する。	見通しをもって学習や実践に取り組むとともに、振り返りを通して次へ生かそうとしているかどうかを評価する。基本的には事前・事後の指導において見取る。	

3 事後の指導

活動の場面	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿【観点】（評価方法）
11月0日（ ）	「ふれあいフェスティバル」で意思決定しためあてを実践する。	・意思決定しためあてを意識して活動できるような意欲付けをする。	◎意思決定しためあてを実践している。【思考・判断・表現】〈観察〉
11月0日（ ）	・成長作文を書く。 ・学習カードの「ふり返し」欄を記入する。	・意思決定を記入した学習カードに、振り返りの欄を設け、めあてに応じた振り返りとなるようにする。	◎実践を振り返り、縦割り活動をはじめとする今後の学校生活や日常生活に生かそうとしている。【主体的態度】〈学習カード〉

※1の場面の評価例〈資料① たてわり班活動についてのアンケート〉

②これまでに、たてわり班活動をやってよかった・おもしろかったと思ったことがあれば書いてください。

1年生のかがに教えるたすぐに指示をきいてすぐに実行していたこと。3年生が楽しそうに準備をしていたこと。とても仲良かった。

④たてわり班活動は何のためにやると思いますか？

他学年とのかかわりを広げるため。個人個人の成長のため。

②これまでに、たてわり班活動をやってよかった・おもしろかったと思ったことがあれば書いてください。

1年生の子と、笑顔で話せるようになって、6年同士協力できるようになったこと。

④たてわり班活動は何のためにやると思いますか？

全校の人と仲良くなるため。いろいろな人と交流するため。

学習への意欲をもち、縦割り班活動の具体的な場面から成果や意義を振り返っていることから、十分満足できる活動の状況である。

縦割り班活動の成果について、自己や仲間の内面の成長にも目を向け、学習への見通しをもとうとしていることから、十分満足できる活動の状況である。

※2の場面の評価例〈資料②「ふれあいフェスティバルに向けてたてわり活動を振り返ろう」学習カード〉

目標 下級生に接、するのを6年生の中でも先してやる

その目標にした理由
私は下級生に接、するのが好きだし、どちらかといえば得意だから、6年生の中でも先してしたり、にかがてな人のサポートもしてあげたいと思ったから。

目標 副班長の自覚を持ち、11月1日の人たから仲良くなる。(自分から接、する。)

その目標にした理由
副班長の言葉などは当然あります。なので少し自覚を持ってない部分があります。たからこそ自覚を持ってチャレンジして、みんなと仲良くなりたいたい。この目標にしました。

話し合い活動を通して自己のよさについて考えを深め、それを生かしためあてを意識決定していることから、十分満足できる活動の状況である。

話し合い活動を通して縦割り班における自己の課題に気づき、その解決に向けためあてを意識決定していることから、十分満足できる活動の状況である。